



日本学術会議 防災減災学術連携委員会+防災学術連携体

第4回「防災に関する日本学術会議・学協会・府省庁の連絡会」

自然災害を取り巻く環境の変化と防災政策

～ 出現した多様な危機への備え～

日時 2022年8月2日(火) 13:00～16:00

オンライン開催

2022年5月9日に第13回防災学術連携シンポジウム「自然災害を取り巻く環境はどうか変化してきたか」を実施し、様々な分野や視点から、27学会の発表が行われた。本連絡会では、このような環境の変化を踏まえて、日本の防災政策はどのように変わってきたか、今後はどのようにすべきかなどについて、府省庁、学協会及び日本学術会議の間で情報交換を行う。近年、地球環境と社会環境の大きな変化があり、自然災害と感染症との複合災害、線状降水帯の頻発化、熱海の盛土崩落による土石流、トンガの火山噴火と津波、日本の海底火山の噴火と軽石の漂流など、新たに多様な災害が出現している。また、新たに検討されている日本海溝・千島海溝周辺型地震では、寒冷で平坦で人口密度の低い土地における津波・地震対策が課題になっている。この度は、私たちの前に出現した多様な危機への備えに焦点を当てて、デジタル技術も活用した最新の政策の動向、学会の研究活動などを紹介し、府省庁と学術界で真剣な意見交換を行いたい。

プログラム

13:00 開会・趣旨説明
挨拶
出席者の紹介

防災減災学術連携委員会委員長 米田雅子
内閣府 防災担当政策統括官

13:15 「出現した多様な危機への備え」に関する政策について

盛土規制法について 国土交通省 大臣官房参事官 (宅地・盛土防災担当)
線状降水帯の予測精度向上に関する取り組みについて 気象庁 総務部 (調整中)
日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震対策について
内閣府 政策統括官 (防災担当) 付参事官 (調査・企画担当)
デジタル技術を活用した防災対策について
内閣府 政策統括官 (防災担当) 付参事官 (防災デジタル・物資支援担当)

14:15 「出現した多様な危機への備え」に関する学会からの発表

盛土をめぐる課題について 地盤工学会 勝見 武
地球温暖化と気象の変化 日本気象学会 橋田俊彦
日本海溝・千島海溝沿いを含む日本を取り巻く巨大地震とそれらへの対応
日本学術会議 防災減災学術連携委員会 平田 直
都市計画と防災の今後 日本都市計画学会 森本章倫
災害時の病院の籠城戦略 日本災害医学会 近藤久禎

15:25 全体意見交換

15:55 閉会挨拶

防災学術連携体代表幹事 大友康裕

16:00 終了

防災学術連携体の防災連携委員、学識会員の方でご出席される方は、下記よりご連絡をお願いします。

<https://ws.formzu.net/fgen/S4155401/>

問合せ先：一般社団法人 防災学術連携体
〒113-0023 東京都文京区向丘1-5-4 ワイヒルズ2階
電話：03-3830-0188 ファックス：03-5876-8463 mail：info@janet-dr.com

防災学術連携体 正会員

安全工学会
横断型基幹科学技術研究団体連合
環境システム計測制御学会
空気調和・衛生工学会
計測自動制御学会
こども環境学会
砂防学会
水文・水資源学会
石油学会
ダム工学会
地盤工学会
地域安全学会
地理情報システム学会
土木学会
日本安全教育学会
日本応用地質学会
日本海洋学会
日本火災学会
日本火山学会
日本風工学会
日本活断層学会
日本看護系学会協議会
日本機械学会
日本危機管理防災学会
日本気象学会
日本救急医学会
日本計画行政学会
日本建築学会
日本原子力学会
日本航空宇宙学会
日本公衆衛生学会
日本古生物学会
日本コンクリート工学会
日本災害医学会
日本災害看護学会
日本災害情報学会
日本災害復興学会
日本自然災害学会
日本社会学会
日本森林学会
日本地震学会
日本地震工学会
日本地すべり学会
日本造園学会
日本第四紀学会
日本地域経済学会
日本地球惑星科学連合 (JpGU)
日本地形学連合
日本地質学会
日本地図学会
日本地理学会
日本都市計画学会
日本水環境学会
日本リモートセンシング学会
日本緑化工学会
日本ロボット学会
農業農村工学会
農村計画学会
廃棄物資源循環学会

防災学術連携体 特別会員

東京建築士会
日本建築構造技術者協会
日本免震構造協会